

広島空港 スクエア通信

第 24 号(平成 31 年4月 26 日)
(発行：広島県空港振興課)



広島空港ターミナル3階 展望デッキ
平成 30 年 10 月から入場無料となった。

(目次)

■ トピック	2
・平成 31 年度（令和元年度）に際して	2
・GWのチャーター便について	3
■ イベント情報	4
・2019 ひろしまフラワーフェスティバル	4
■ 広島観光情報	5
・世羅高原農場	5
■ コラム	6
・広島空港のレンタカーの今後と課題（広島空港レンタカー協議会 会長 西澤 富夫）	6
・広島空港のコンセッション開始によせて（関西外国語大学 引頭雄一先生）	7
■ お知らせ	10
・GW期間中の空港アクセスについて	10
・空港イベント	10
■ 広島空港の利用状況（平成 31 年 3 月）	11
・航空旅客	11
・リムジンバス等	12
・駐車場	13

■ トピック

平成 31 年度(令和元年度)に際して

平成 30 年度の広島空港の航空旅客数は約 298 万人 (2,987,723 人) であり、惜しくも 300 万人には届きませんでした。しかし、平成 30 年 7 月豪雨災害があったにも関わらず、対前年比 100.4%という状況となりました。これもひとえに空港活性化に向けた関係者の皆様の御尽力と御協力の賜物と思っております。この場をお借りして御礼申し上げます。

広島県としても引き続き利便性向上に努めてまいります。

さて、今年度は令和 3 年 (2021 年) から開始される広島空港の経営改革に向けて、本格的な準備の始まる年となります。具体的には、5 月に運営事業者の募集要項が公表され、8 月からは事業者の選定審査が始まる予定です。広島県としても、地域活性化に資する空港経営改革の実現に向けて環境整備の取り組みを進めてまいります。

こういった状況の中で、今年度の広島空港〇スクエア通信では、読者の皆様に広島空港への理解をより深めていただくため、「広島空港 現場の声」というコーナーを新設する予定です。このコーナーでは、あらゆるシーンで広島空港と関係を持つ方々の現場の声を取り上げ、発信していきます。広島空港の運営を検討している事業者の皆様におかれましては、広島空港に関する生の声、つまり本音により近い声を聞いていただくことによって、提案事業の企画に役立てていただければ幸いです。

最後に、より多くの価値のある情報を発信してまいりますので、今後とも引き続きよろしくお願い致します。

GW期間のチャーター便について

2019年のGWには多くのチャーター便が運航されます。

チャーター便を活用すれば、普段は定期便が運航していない地域にも便利に行くことができます。

詳細は広島空港HPをご覧くださいか、旅行会社にお問い合わせください。

【国内線】

出発日	帰着日	行先	運航会社
5月3日	5月5日	花巻・青森	フジドリームエアラインズ

【国際線】

出発日	帰着日	行先	運航会社
4月27日	4月29日	濟州島	チェジュ航空
4月27日	5月1日	グアム	チャイナエアライン
4月29日	5月3日	グアム	チャイナエアライン
4月28日	5月1日	香港	キャセイドラゴン航空
4月29日	5月3日	コタキナバル	マリンドエア
4月29日	5月4日	ホノルル	チャイナエアライン
5月1日	5月5日	バンコク	ノックエア
5月2日	5月6日	グアム	チャイナエアライン

■ イベント情報

2019 ひろしまフラワーフェスティバル



広島最大級のイベント「ひろしまフラワーフェスティバル」が今年も開催されます。祭りは毎年GWの3日間で、約160万人の人出でにぎわいます。GW期間に開催されるイベントとしては日本有数の規模を誇ります。

イベントの見どころは、約9,000人の参加者が衣装や演出に花をあしらった平和大通り約1.2kmを練り歩く「花の総合パレード」や、イベント会場各所に設置される出展者が趣向を凝らした楽しい「ひろば（ブース）」です。そして、約250団体がダンスや歌を披露するステージイベントも必見です。イベントにはSTU48やサンフレッチェ広島の森崎和幸さん・浩司さんも出演予定です。

また、近年は夜の展開も広がり、平和を願うメッセージを添えたキャンドルや点灯した折りづるみこしが平和記念公園を彩り、神楽や護岸コンサートなどの催しも開かれています。

日時：2019年5月3日(金・祝)～5月5日(日・祝)
会場：広島市 平和記念公園、平和大通り ほか
<https://www.hiroshima-ff.com/>



世羅高原農場



写真提供 広島県

広島県世羅町にある世羅高原農場では、西日本最大規模で季節折々の花畑を楽しむことができます。

春には約 75 万本のチューリップが咲き誇る「チューリップ祭」、夏にはマツダスタジアムよりも広い丘一面を約 110 万本のひまわりが黄色く染め上げる「ひまわり祭」、秋には約 550 種類 7500 株という西日本最大規模で色とりどりで形も様々なダリアを楽しめる「ダリア祭」など、広大なスケールで展開される花畑は圧巻です。また、グルメが楽しめる農場レストランやハーブティーが美味しい花カフェ、このほか体験メニューやイベントもあります。

世羅高原農場は広島空港から車で約 40 分とアクセスしやすくなっています。ご来場にはレンタカーをお勧めいたします。

世羅高原農場

住所: 〒729-3305 広島県世羅郡世羅町別迫 1124-11

<https://sera.ne.jp/sk/>



広島空港のレンタカーの現在と課題

広島空港レンタカー協議会
会長 西澤 富夫

現在の広島空港でのレンタカー利用状況は年間で約6万5千件、13万人以上の方々にご利用いただいています。これは、航空旅客数(降客数)の約10%に相当し、毎年その伸びは航空旅客数(降客数)の伸びを上回る勢いで続いています。

ご利用の中心はビジネスによるもので約6割を占めますが、週末や連休等を中心に観光目的のお客様も3割を占めています。最近ではインバウンドのお客様の増加が目立っており、中四国のゲートウェイ空港として今後も一層の伸びが期待できます。これらは、広島空港における自由度の高い二次交通機関として、レンタカーの利便性・経済性が多くの方に支持されてきた結果であると考え、喜んでいるところであります。

一方、ご利用の増加に伴い、課題も多く抱えています。

具体的には、お客様から「レンタカー事務所が遠くて時間がかかる」「場所がわかりづらい(ご返却時)」「敷地が狭く混雑する」などの声をいただいております。対応に苦慮しています。現在のご利用手続きの流れは、空港内のレンタカーカウンターにてすぐにお客様をお迎えできるわけですが、小スペースの為ご利用に必要な貸渡し手続きはできず、ご案内のみとなっています。その為、空港からは送迎バスにご乗車いただき、各レンタカー事務所まで移動、受付した順番に貸渡し手続きを行い、ご出発いただいております。その間約20分を要しておりますが、お客様の集中という空港特有の事情もあることから、混雑時は倍以上の時間を要することも生じております。

このように、空港ターミナル近隣にサービス拠点が確保できない事から、二次交通としての利便性が損なわれ、お客様に満足のいくサービスが提供できていないのが現状です。現在も、引き続き改善に向けた対策・協議を続けておりますが、なかなか進展しておりません。

全国的にも空港におけるレンタカー需要は大きく伸びており、各空港において、レンタカーのアクセス改善は最重要課題として取り組まれています。近年では、青森空港、宇部空港、庄内空港など、空港インフラとしてレンタカー専用の「レンタカーターミナルビル」の設置も進んでおり、「便利で分かりやすい」とお客様からも高い評価をいただいております。

広島空港はその規模や立地、果たすべき役割から見ても、国内・国際の重要なアクセス拠点として今後もますます拡大が見込まれます。今まさに、空港経営改革が進められる中で、レンタカー(カーシェア含む)が二次交通機関として果たすべき使命は大きく、今後もますます高まるものと考えております。引き続き、関係機関との連携・協力をいただきながら、お客様の利便性向上に向けて最大限の努力を重ねていく所存です。

ご理解ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

最初から個人的なことで恐縮ですが、私の故郷は尾道市であり、前職である空港のコンサルタント企業に勤務していたころ、広島空港の整備に関わってきました。また、最近では広島空港のコンセッション導入に際して、地元の要望をまとめる「空港経営改革推進委員会」にも参加させて頂きました。このようなご縁から、今回このコラムを担当させて頂くことになったのだと思います。いくつかのテーマに分けてコラムを執筆いたします。

《空港経営の変成》

わが国では空港は公共交通の役割を果たす重要な施設として公共事業によって整備され、その管理運営も国、地方自治体はその役割を果たしてきました。ただし、空港ターミナルビルについては、戦後最初の民間空港となった羽田空港において国の財政が困窮していたため民間資金によりターミナルビルが建設され、経営も民間企業によって行われてきました。広島空港も1961年の旧広島空港開港以来、国によって管理運営され、ターミナルビルは地元自治体と企業が出資する第三セクター会社として空港ターミナルビル会社が経営を担ってきました。

空港は空と陸をつなぐ交通の結節点であり、多くの人が行きかう賑わいの場でもあります。諸外国では政府ではなく民間企業が空港経営を行うことが珍しくはありません。ロンドンヒースロー空港のように元々は国が関与する公社が運営していたものが、その株式が民間に放出され、今ではスペインの民間企業が経営を行っています。大規模な空港ほど収入も多くなるため、このように民間企業が空港経営を行う例は世界各地で見受けられるようになってきました。

《わが国の空港へのコンセッション導入》

日本でも2010年に発表された「国土交通省成長戦略」において「民間の知恵と資金」を活用した空港経営の導入が提唱され、日本に適した具体的な手法として空港施設の所有は従来通り国が担当し、空港全体の経営については民間企業に任せるコンセッション（運営権売却）という手法が採用されました。その後、法制度の整備等を経て、2016年より関西国際空港、伊丹空港、仙台空港において民間企業による空港運営が開始されました。

仙台空港では東急電鉄、豊田通商、前田建設工業グループにより仙台空港を経営する特別目的会社として仙台国際空港（株）が設立され、2015年に311万人であった利用客を30年後には550万人に増やす将来計画を掲げました。民営化後には、隣県の福島、山形、岩手各県との間に県境を越えてリムジンバスを開設するなどアクセスの充実に努めると共に、柔軟な着陸料設定により新規航空会社の誘致に努めました。その結果、2018年度には国際線旅客を対前年度75%増の28万人とし、国内線も含む総旅客数を過去最高の344万人とする実績をあげました。

国管理空港のコンセッションは仙台空港に続き2018年4月には高松空港において開始され、三菱地所、大成建設、パシフィックコンサルタンツグループが運営権者として選定され高松空港（株）を設立しました。さらに福岡空港においてもコンセッションにより、福岡エアポートホールディング、西鉄、九州電力、三菱商事、チャンギエアポートによるコンソシアムが運営権者に選定され、空港運営会社として福岡国際空港（株）が設立され、2019年4

月から民間企業による空港運営が開始されました。引き続き熊本空港、北海道7空港でもコンセッションが導入され、民間企業による空港経営の準備が進められているところです。

広島空港はこれらの空港に次いでコンセッションを導入し、2021年には民間企業による空港全体の経営が始まる予定となっています。空港経営改革によって民間企業ならではのアイデアと多様性を取り入れることによって、より収益性を高めるとともに、地域活性化の起点としての役割を果たすことが期待されています。

《空港経営改革と地域活性化》

より多くの人々が空港を利用し、地域に流れ込むことによって初めて地域の活性化につながるようになりますが、空港は地域の玄関口であり、空港経営改革だけで地域の活性化を実現できるわけではありません。この空港を利用し、多くのお客様を運んでくれる航空会社にも大きな役割を果たしてもらわなければなりません。しかし、航空機を利用する需要は「派生需要」と言われており、一部のマニアを除いては飛行機を利用することが目的ではありません。ビジネス、観光、あるいは私用と旅行目的は違えども、いずれも目的地での活動に参加するために航空機を利用していることを忘れてはなりません。つまり、空港経営改革はあくまでも地域改革のきっかけの一つであるとして認識し、地域の企業、住民、行政の方々が一体となって空港利用を支援するようなプロモーション、おもてなし、地域連携、制度改革が必要ではないでしょうか。その意味からすると、空港経営改革は地域改革の一番走者といえると思います。空港経営改革の推進と地域の協力によって、一人でも多くの方々が航空機を利用して広島へ来て頂けるのだと思います。

より多くの観光客に来て頂くためには様々なプロモーション活動が必要となりますが、観光サイドからみれば特に航空機ではなく、どのような交通手段を使っても広島へ来てくれれば良いとなります。しかし、ここに一工夫を加えることによって、航空機を使っていただくようなプロモーション活動も考慮に入れると共に、空港会社と連携して特別なサービスを提供することも考慮すべきではないでしょうか。また、空港側においても直行便の誘致に目が行きがちですが、他空港の利用、あるいは片道は新幹線を利用するような旅客も地域全体で受け入れるという発想が必要といえます。このように観光と空港がより一層コラボレーションすることによって、より多くの方々に広島へ来て頂くことが重要と考えます。



空港イベントにより地域と連携

《航空機のハンドリング》

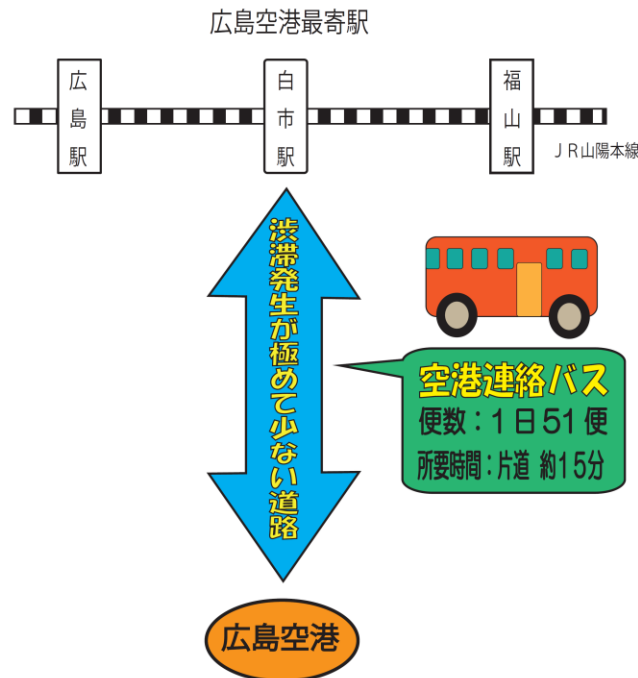
一転して空港内の業務においても、コラボレーションが重要となってきます。例えば、広島空港ではJAL、ANAの大手キャリアが就航しており、航空機のスポットイン・アウト、貨物のハンドリング等のグラウンドサービスは各社がそれぞれ契約する地元業者が担当しています。運航便数の多い国内線であれば、契約先の各ハンドリング会社が行う事で特に問題はありませんが、国際線に就航している外国航空会社は、便数が1日1往復、あるいは週に数往復と少ないため、自社のハンドリング会社を持たず、国内線を扱う既存のハンドリング会社に委託せざるを得ません。国際線の場合、時間帯が集中する傾向があり、加えてチャーター便の場合はその都度対応する必要があるため、必ずしもすべての航空会社の要請に応えることができるわけではありません。空港経営改革では空港全体を一体経営することになりますので、グラウンドハンドリング等の航空会社のサポート機能についても空港会社で行う、あるいは統一し効率化することによって、広島空港への就航を要望するすべての航空会社の要望に応えられるように、一層充実させることにも注力してもらいたいものです。



■ お知らせ

GW期間中の空港アクセスについて

GW期間は山陽自動車道の混雑が予想されます。お時間に余裕をもってお出かけください。また、山陽自動車道の混雑時には、定時性の高いアクセス方法である「白市ルート」もおススメです。



【空港イベント情報】

広島空港写真展

飛行機や空港の写真を展示しています。

【期間】2019年4月27日（土）～ 5月31日（金）

【場所】広島空港ターミナル2階 国内線出発ロビー 保安検査場横



■ 広島空港の利用状況(平成31年3月)

航空旅客

	路 線	区 分	単月(H31.3)		年度累計(H30.4~31.3)		備 考	
			利用状況(人)	前年比(%)	利用状況(人)	前年比(%)		
国内線	東 京	搭乗者数	187,834	102.2	2,048,297	99.8	H29.10.29~1便増便 H30.10.28~1便減便 H31.2.1~1便増便	
		搭乗率	77.4		73.5			
	成 田	搭乗者数	25,228	174.1	212,525	100.1	H30.1.16~1便減便 H30.8.1~1便増便	
		搭乗率	90.8		77.4			
	札 幌	搭乗者数	13,903	131.8	152,025	98.2		
		搭乗率	67.7		64.4			
	仙 台	搭乗者数	7,021	106.8	78,886	97.4		
搭乗率		81.5	79.6					
沖 縄	搭乗者数	13,857	104.7	137,494	101.1			
	搭乗率	82.8		71.0				
その他国内	搭乗者数	622	—	6,311	—			
	搭乗率	82.3		73.7				
国内線合計	搭乗者数	248,465	108.4	2,635,538	99.8			
	搭乗率	78.5		73.2				
国際線	ソ ウ ル	搭乗者数	4,558	62.6	58,771	94.9	H30.8.27~2便減便	
		搭乗率	84.7		75.8			
	中国路線	大連・北京	搭乗者数	3,445	89.3	42,209	106.9	平成28年冬スケジュールから冬期は週4便、夏期は週5便で運航されている。
			搭乗率	61.1		57.3		
		上 海	搭乗者数	6,283	95.9	69,262	105.2	
			搭乗率	83.1		77.5		
	(小 計)	搭乗者数	9,728	93.4	111,471	105.8		
		搭乗率	73.7		68.4			
	台 北	搭乗者数	8,835	102.4	96,635	97.6		
		搭乗率	84.8		80.3			
	香 港	搭乗者数	3,564	87.0	47,415	99.4		
		搭乗率	82.5		84.5			
シンガポール	搭乗者数	3,224	91.5	33,461	—	H29.10.30 就航 週3便		
	搭乗率	77.6		72.5				
その他海外	便数(片便)	2	—	30	—			
	搭乗者数	244		4,432				
	搭乗率	76.7		78.5				
国際線合計	搭乗者数	30,153	88.9	352,185	105.7			
	搭乗率	79.8		75.1				
旅客合計	搭乗者数	278,618	105.9	2,987,723	100.4			
	増加人数	15,463		12,620				

リムジンバス等

路線	区分	単月 (H31.3)		年度累計 (H30.4~31.3)		備考
		利用状況(人)	前年比(%)	利用状況	前年比(%)	
広島	乗客数	103,471	107.3	1,111,483	101.2	
	(うち平和大通り)	1,016	93.5	12,232	86.1	
	1便平均	19.3		18.1		
		4.1		4.3		
福山	乗客数	7,506	110.0	81,026	102.5	
	1便平均	10.1		9.3		
三原	乗客数	4,735	117.6	50,988	123.4	
	1便平均	6.9		6.4		
呉	乗客数	7,096	101.0	76,843	103.9	
	1便平均	12.7		10.0		
白市駅	乗客数	7,912	88.0	70,573	57.2	
	1便平均	5.0		4.5		
竹原港	乗客数	1,071	100.0	11,357	100.0	
	1便平均	2.3		2.1		
尾道	乗客数	0	0.0	5,396	75.2	H28.4~
	1便平均	0.0		4.1		
三次	乗客数	386	90.6	4,476	186.0	H28.7~
	1便平均	2.1		2.1		
西条	乗客数	5,907	90.6	56,999	-	H29.10~
	1便平均	9.5		8.0		
合計	乗客数	138,084	105.8	1,469,141	100.7	
	増加人数	7,630		10,924		

駐車場

[単位：台，%，日]

駐車場名	区分	単月 (H31. 3)		年度累計 (H30. 4～31. 3)	
		利用状況(台)	前年度比(%)	利用状況(台)	前年度比(%)
空港駐車場 1,149台	入庫台数	27,369	99.8	298,122	110.7
	1日平均	883		817	
	泊車台数	20,055	104.9	223,328	113.2
	1日平均	647		612	
	満車日数	3	1	40	8
県営第1駐車場 593台	入庫台数	7,977	103.8	88,346	116.8
	1日平均	257		242	
	泊車台数	5,849	110.4	66,745	116.0
	1日平均	189		183	
	満車日数	0	0	0	0
県営第2駐車場 645台	入庫台数	13,908	102.8	159,799	112.9
	1日平均	449		438	
	泊車台数	5,000	128.0	55,477	132.8
	1日平均	161		152	
	満車日数	0	0	0	0
県営駐車場 計 1,238台	入庫台数	21,885	103.2	248,145	104.6
	1日平均	706		680	
	泊車台数	10,849	117.9	122,222	123.1
	1日平均	350		335	
	満車日数	0	0	0	0
正広駐車場 1,426台	入庫台数	4,970	102.2	55,331	101.9
	1日平均	160		152	
	泊車台数	16,140	101.1	184,852	85.8
	1日平均	521		506	
	満車日数	0	0	0	0
合計 3,814台	入庫台数	54,224	101.3	601,598	112.2
	1日平均	1,749		1,648	
	泊車台数	47,044	106.2	530,402	103.6
	1日平均	1,518		1,453	

注：満車日は、概ね1時間以上満車となった日を集計しており、単位は「日」。

注：正広駐車場の収容台数は、平成16年12月20日まで1172台、平成18年9月21日までは1312台。

第25号の配信は5月下旬頃を予定しています。